

## 第8節 床・階段 湿式工法

### 1) 適用範囲

本節は、建物内部および外部の床・階段に湿式工法で取り付ける工事に適用する。

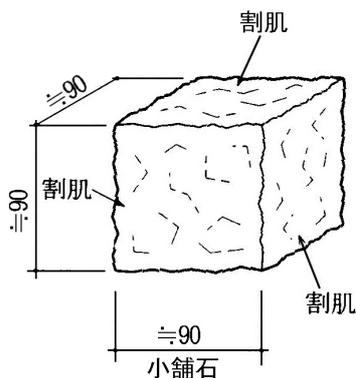
### 2) 使用材料

#### a. 石 材

- (1) 石材の種類・表面仕上げ
- (2) 石材の厚さは、設計図書  
30mm 以上とする。
- (3) 床・階段用石材の標準寸

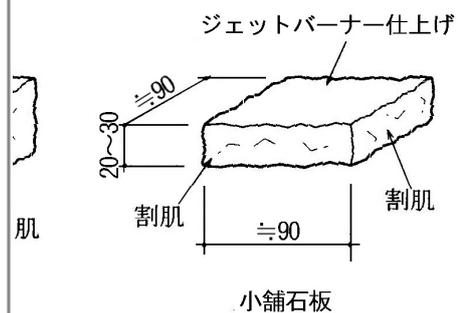
種 類	厚 さ
花崗岩など（内外部）	角 25～100 角 25～45
大理石など（内 部）	角 25～80 角 20～35
鉄平石など（内外部）	角 20～35 角 10～25

- (4) 小舗石および小舗石板  
滑り防止用として、石材表  
ある。



、4節[材料]-「石材」の項による。  
建物内部では20mm以上、建物外部では

ゴム系の部材を埋め込んだりする場合は



小舗石・小舗石板の例

#### b. その他の材料

- (1) 敷きモルタル、張付け用ペースト、浸透性吸水防止材、石裏面処理材、裏打ち処理材およびシーリング材は4節[材料]-「副資材」の各項による。
- (2) 大理石の張り石では、モルタルの色調が石材の色調に影響しないように白セメントと寒水石粒によるモルタルを使用する。

(3) 浸透性吸水防止材、石裏面処理材、裏打ち処理材の適用は、設計図書による。

石裏面処理材は、張付け用ペーストとの接着力を低下させることがあるため、事前に検討しておく。

### 3) 施 工

#### a. 排水処理

(1) 建物内部では、仕上げ面

路を確保する。

(2) 建物外部では、仕上げ面

も水勾配および排水経路を確保する。そ

の方法は、設計図書による。

(3) 建物内部と建物外部が連

は、外部の水が内部に浸入しない納まり

とし、その方法は、設計図

#### b. 床張り

(1) 取付け代

石材の裏面と下地となるコ

は、工法の特性や敷きモルタルの施工性

から 40mm を標準とする

#### c. 下地ごしらえ

(1) 下地にワイヤブラシ掛け

った後、水洗い・水湿しをむらなく行う。

(2) 敷きモルタルは、柱脚部

れた陸墨にならない、下地の上に定規で均

しながらむらなく敷く。

(3) 下地コンクリートに極端

あらかじめモルタルを打設して調節し、

このモルタルの硬化後に敷

く。

#### d. 仮据え

(1) 柱脚部や周辺壁の下部に

水系を張り、水系に合わせて石材を敷

きモルタルの上に乗せ、木

を用いて十分にたたき締めて仮据えする。

(2) 石材の裏面が割はだのよ

は、石材と敷きモルタルの空間が少なく

なるように、仮据えを確保

#### e. 本据え

(1) 仮据えした石材を 1 枚ご

敷きモルタルの上に張付け用ペースト

を均一な厚さで塗布する。

(2) 敷きモルタルの上に流す

石材の裏面全面に行きわたるように柄杓

などを用いて均一かつ十分

付け用ペーストの量が少ないと、石裏に

空隙ができ、濡れ色を生ずる原因となるので十分な量を散布する。

(3) 張付け用ペースト散布後、再度石材を置き、木槌やゴムハンマーなどを用いて、たたき

しめ、水系に合わせて不陸・目違いが起こらないように注意して本据えを行う。

しめ、水系に合わせて不陸・目違いが起こらないように注意して本据えを行う。

(4) 再び石材を据え付けて圧着し、不陸・目違いのないよう本据えする。

<https://www.sekouya.com>

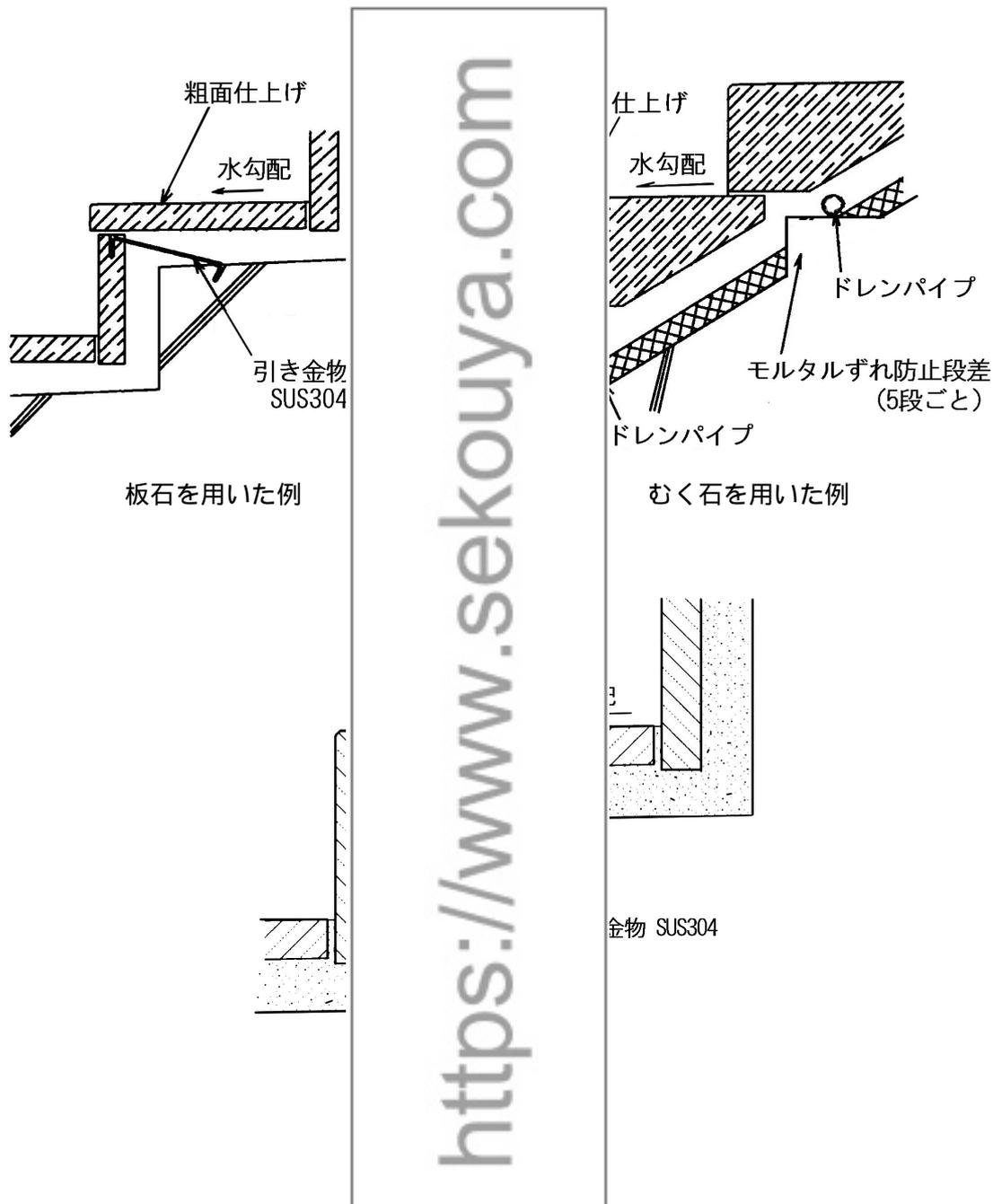
## f. 階段

(1) 踏石の据付けは、床張り工法に準ずる。

水のかかる階段部分の据付けには、水が滞留しないように躯体の水勾配を確認する。

また躯体面の水勾配が不十分な場合には、敷きモルタル施工前にセメントモルタルで補修する。

(2) 蹴上げ石の取付けは 5 節「外壁湿式工法」の項に準じる。



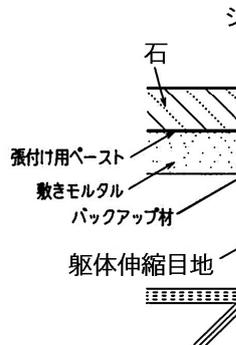
## g. 目地

(1) 石材間の目地幅は、目地モルタルを確実に充填できる幅、建物内部の場合には 3mm 以上、建物外部の場合には 4mm 以上を標準とする。

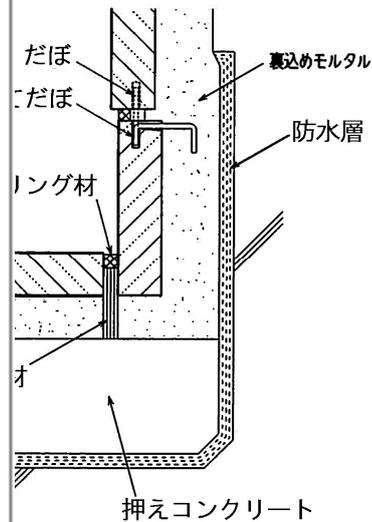
(2) 目地モルタルの充填は、敷きモルタルが硬化した後に行う。

目地の施工は、石材などの上に乗って作業しても差し支えない程度に敷きモルタルが硬化した後に行い、ゴム付きへら(ワイパーモップ)を用いて全体に行き渡るよう目地モルタルを詰め込む。

- (3) 目地モルタルの施工中に、目地からはみ出した余分のモルタルは、乾いた布で速やかに拭き取り、仕上げる。
- (4) 連続した床面および他の部材と取り合う箇所には、伸縮調整目地を設ける。その間隔と目地幅は設計図書による。
- (5) 伸縮調整目地は、発泡プラスチック材などを下地コンクリート面まで挿入し、シーリング材を充填して仕上げる。
- (6) 床・階段で、通常の目地材を充填する。
- (7) シーリング材は設計図書



るが、伸縮調整目地部分は、シーリング材を充填するものとする。



例

るまで歩行しない。  
 の養生 5) 石の清掃」および下記による汚染や破損のほかに、作業・小運搬用を終わった石材の表面を汚染しないよう乾いた布で拭き取ることとし、長時間汚

#### h. 養生および清掃

- (1) 取付け用ペーストおよび
- (2) 養生・清掃は、「3節
- (3) 外部床・階段の養生は、
- (4) 張付け用ペーストの散布
- (5) 施工後はポリエチレンフィルムで覆っただけでなく、クッション材をはさんで合板などで養生を行う。蛇紋岩系の石材では、水分により含有鉱物の硫化鉄の酸化が発生し、ポップアウトや汚染の原因となる場合があるため、敷きモルタルの乾燥期間を設けた後に養生を行う。
- (6) 汚れ防止とつや出しにワックスを使用する場合は、特記による。  
 外部床・階段は、清水または中性洗剤で清掃する。やむを得ず酸類を使用する場合は、石材に清水を十分注ぎかけて吸水させた後、酸洗いし、ただちに清水で洗い流す。大理石で

<https://www.sekouya.com>

は、酸を用いることはしない。

(7) 内部の床・階段に花崗岩を用いる場合は、清水や中性洗剤を用いる清掃を原則とする。

(8) 大理石の場合は、原則として乾燥した軟らかい布の乾拭きとし、濡れた布や市販洗剤の使用は光沢がなくなるので使用しない。

(9) 床・階段では、維持管理のためにワックス掛けを行う場合も多いが、石材を汚染しない材料を選択する。一般的には、水性樹脂ワックスを用いる。

(10) 油性ワックスを張り石  
場合がある。ワックス掛  
ス掛けの後ポリッシャ仕  
汚染の原因となる場合が

モルタル中の水分により汚染を生ずる  
おがくずを用いて十分に清掃し、ワック  
石材の上に長時間放置したままにすると、

#### i . 清 掃

外部床・階段では水洗い

<https://www.sekouya.com>